

令和8年3月24日  
厚生労働省政策統括官付参事官付世帯統計室

第12回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の結果の訂正について

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の第12回（令和5年）調査結果の一部に誤りがあったため、数値を訂正しました。

利用者の皆様にはお詫びを申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。



報道関係者 各位

令和6年 11月 29日  
【照会先】  
政策統括官付参事官付世帯統計室  
縦断調査管理官 菅沼 伸至  
室長補佐 村田 美智恵  
(担当) 成年者縦断統計係  
(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)  
(直通電話) 03-3595-2322

## 第12回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」 の結果を公表します

～平成24年から令和5年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第12回(令和5年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、平成24年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第12回調査では、平成24年度の第1回調査から協力が得られた4,754人を集計対象としており、調査対象者の年齢は31～40歳となっています。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第1回調査時に独身であった者の職業観

第1回調査時に独身であった者の職業観をみると、女ではこの11年間に「結婚していない」者に比べ「結婚した・出生あり」の者は、「家計に余裕をもつため」が高い(4頁 図1)

#### 2 夫の平日の家事・育児時間と出産後の妻の就業状況

この11年間に子どもが生まれた同居夫婦(出産前に妻に仕事あり)では、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い傾向(6頁 図3)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。



報道関係者 各位

令和6年 11月 29日  
【照会先】  
政策統括官付参事官付世帯統計室  
縦断調査管理官 菅沼 伸至  
室長補佐 村田 美智恵  
(担当) 成年者縦断統計係  
(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)  
(直通電話) 03-3595-2322

## 第12回「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」 の結果を公表します

～平成24年から令和5年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」の第12回(令和5年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)は、平成24年10月末に20～29歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した21世紀成年者縦断調査(平成14年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第12回調査では、平成24年度の第1回調査から協力が得られた4,765人を集計対象としており、調査対象者の年齢は31～40歳となっています。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第1回調査時に独身であった者の職業観

第1回調査時に独身であった者の職業観をみると、女ではこの11年間に「結婚していない」者に比べ「結婚した・出生あり」の者は、「家計に余裕をもつため」が高い(4頁 図1)

#### 2 夫の平日の家事・育児時間と出産後の妻の就業状況

この11年間に子どもが生まれた同居夫婦(出産前に妻に仕事あり)では、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い傾向(6頁 図3)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。

## 第12回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

### P2「調査の概要：8 結果の集計及び集計客体」

#### 【誤（令和6年11月29日公表）】

#### 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,268人）のうち、第1回調査から第12回調査まで集計可能である4,754人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,507	3,030	1,975
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	177	162	97
女性票	4,840	4,238	2,779
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	79	66	38
計	8,347	7,268	4,754

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

#### 【正】

#### 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,268人）のうち、第1回調査から第12回調査まで集計可能である4,765人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,507	3,030	1,975
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	177	162	97
女性票	4,840	4,238	2,790
（再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup>	79	66	40
計	8,347	7,268	4,765

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

## P 5 「結果の概要：2 就業の状況

### (2) 女性の出産後の就業継続意欲」図2

【誤（令和6年11月29日公表）】

#### (2) 女性の出産後の就業継続意欲

女性の出産後の就業継続意欲の「出産した後も続ける」は上昇し、「出産を機にやめる」は低下

各回調査で追加希望こども数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）について、出産後の就業継続意欲の推移をみると、第1回調査と比べ第12回調査は、「出産した後も続ける」は24.0ポイント上昇し、「出産を機にやめる」は10.8ポイント低下している（図2）。

図2 各回調査で追加希望こども数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）の  
出産後の就業継続意欲の推移



注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

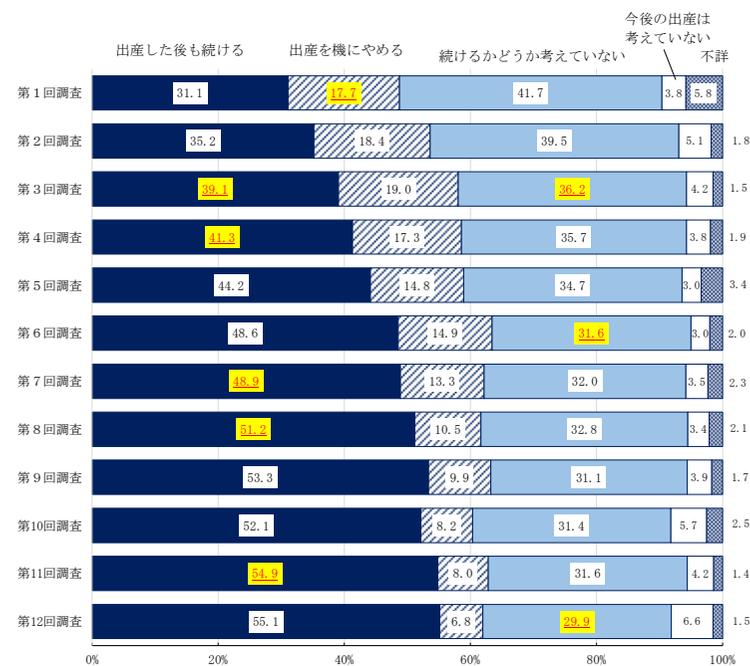
【正】

#### (2) 女性の出産後の就業継続意欲

女性の出産後の就業継続意欲の「出産した後も続ける」は上昇し、「出産を機にやめる」は低下

各回調査で追加希望こども数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）について、出産後の就業継続意欲の推移をみると、第1回調査と比べ第12回調査は、「出産した後も続ける」は24.0ポイント上昇し、「出産を機にやめる」は10.9ポイント低下している（図2）。

図2 各回調査で追加希望こども数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）の  
出産後の就業継続意欲の推移



注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

**P7「結果の概要：2 就業の状況（4）第1子出生前後の所得」図4**  
**【誤（令和6年11月29日公表）】**

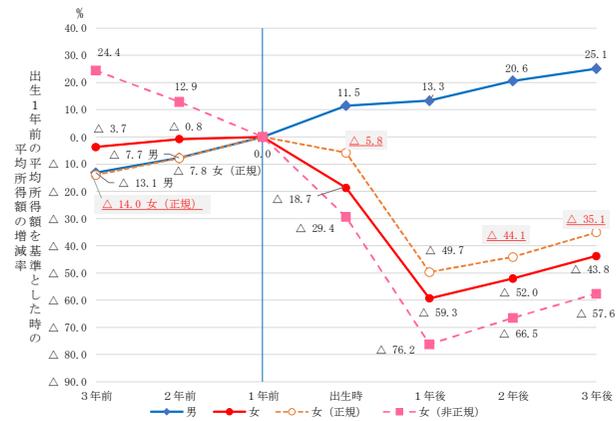
**（4）第1子出生前後の所得**

**第1子の出生前後の平均所得額の変動をみると、女では出生後の平均所得額の低下幅が平成14年成年者と比べ、平成24年成年者の方が小さい**

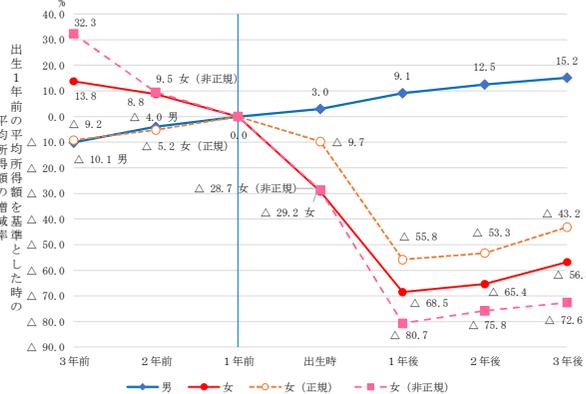
第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者について、平成24年成年者及び平成14年成年者それぞれにおいて、出生1年前の平均所得額を基準とした時の、出生前後の平均所得額の増減率の変動をみると、女は、平成24年成年者及び平成14年成年者ともに出生1年後に大きく低下し、その後上昇する傾向がみられる。また、平成24年成年者と平成14年成年者の出生後の平均所得額の低下幅を比べると、女では平成24年成年者の方が小さくなっている。（図4、表2）

図4 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
**【平成24年成年者・平成14年成年者】**

**【平成24年成年者】**



**【平成14年成年者】**



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3) 正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。

**【正】**

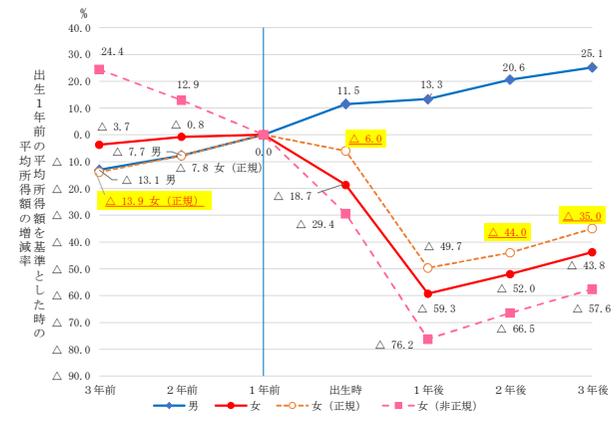
**（4）第1子出生前後の所得**

**第1子の出生前後の平均所得額の変動をみると、女では出生後の平均所得額の低下幅が平成14年成年者と比べ、平成24年成年者の方が小さい**

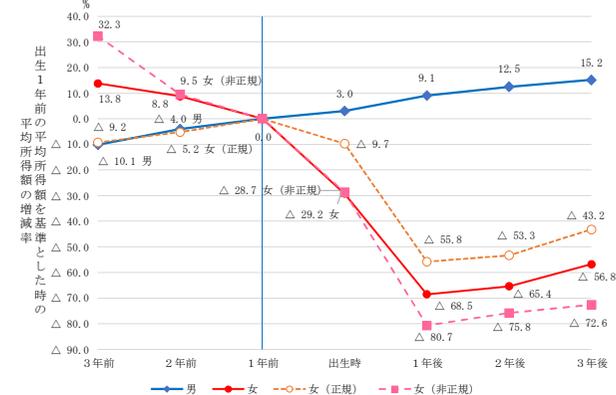
第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者について、平成24年成年者及び平成14年成年者それぞれにおいて、出生1年前の平均所得額を基準とした時の、出生前後の平均所得額の増減率の変動をみると、女は、平成24年成年者及び平成14年成年者ともに出生1年後に大きく低下し、その後上昇する傾向がみられる。また、平成24年成年者と平成14年成年者の出生後の平均所得額の低下幅を比べると、女では平成24年成年者の方が小さくなっている。（図4、表2）

図4 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
**【平成24年成年者・平成14年成年者】**

**【平成24年成年者】**



**【平成14年成年者】**



注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3) 正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。

**P 8 「結果の概要：2 就業の状況（2）第1子出生前後の所得」表2**  
**【誤（令和6年11月29日公表）】**

表2 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
 【平成24年成年者・平成14年成年者】

【平成24年成年者】		(単位：%)						
出生1年前の平均所得額を基準とした時の平均所得額の増減率	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後	
男	△ 13.1	△ 7.7	0.0	11.5	13.3	20.6	25.1	
女	△ 3.7	△ 0.8	0.0	△ 18.7	△ 59.3	△ 52.0	△ 43.8	
女（正規）	△ 14.0	△ 7.8	0.0	△ 5.8	△ 49.7	△ 44.1	△ 35.1	
女（非正規）	24.4	12.9	0.0	△ 29.4	△ 76.2	△ 66.5	△ 57.6	

【平成14年成年者】		(単位：%)						
出生1年前の平均所得額を基準とした時の平均所得額の増減率	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後	
男	△ 10.1	△ 4.0	0.0	3.0	9.1	12.5	15.2	
女	13.8	8.8	0.0	△ 29.2	△ 68.5	△ 65.4	△ 56.8	
女（正規）	△ 9.2	△ 5.2	0.0	△ 9.7	△ 55.8	△ 53.3	△ 43.2	
女（非正規）	32.3	9.5	0.0	△ 28.7	△ 80.7	△ 75.8	△ 72.6	

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2)所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3)正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。

**【正】**

表2 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
 【平成24年成年者・平成14年成年者】

【平成24年成年者】		(単位：%)						
出生1年前の平均所得額を基準とした時の平均所得額の増減率	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後	
男	△ 13.1	△ 7.7	0.0	11.5	13.3	20.6	25.1	
女	△ 3.7	△ 0.8	0.0	△ 18.7	△ 59.3	△ 52.0	△ 43.8	
女（正規）	△ 13.9	△ 7.8	0.0	△ 6.0	△ 49.7	△ 44.0	△ 35.0	
女（非正規）	24.4	12.9	0.0	△ 29.4	△ 76.2	△ 66.5	△ 57.6	

【平成14年成年者】		(単位：%)						
出生1年前の平均所得額を基準とした時の平均所得額の増減率	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後	
男	△ 10.1	△ 4.0	0.0	3.0	9.1	12.5	15.2	
女	13.8	8.8	0.0	△ 29.2	△ 68.5	△ 65.4	△ 56.8	
女（正規）	△ 9.2	△ 5.2	0.0	△ 9.7	△ 55.8	△ 53.3	△ 43.2	
女（非正規）	32.3	9.5	0.0	△ 28.7	△ 80.7	△ 75.8	△ 72.6	

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2)所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3)正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。

P11「参考：2 集計客体数一覧」 図2

【誤（令和6年11月29日公表）】

図2 各回調査で追加希望ことも数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）の  
出産後の就業継続意欲の推移

（単位：人）

	総数	出産した後も 続ける	出産を機に やめる	続けるかどうか 考えていない	今後の出産は 考えていない	不詳
第1回調査	1,741	541	307	726	66	101
第2回調査	1,865	656	343	736	96	34
第3回調査	1,765	689	335	640	75	26
第4回調査	1,834	759	317	655	69	34
第5回調査	1,780	786	264	617	53	60
第6回調査	1,611	783	240	508	48	32
第7回調査	1,589	776	212	509	56	36
第8回調査	1,490	762	156	489	51	32
第9回調査	1,374	732	136	428	54	24
第10回調査	1,289	672	106	405	74	32
第11回調査	1,142	626	91	361	48	16
第12回調査	1,008	555	69	302	67	15

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

【正】

図2 各回調査で追加希望ことも数1人以上の女性（各回調査で仕事あり）の  
出産後の就業継続意欲の推移

（単位：人）

	総数	出産した後も 続ける	出産を機に やめる	続けるかどうか 考えていない	今後の出産は 考えていない	不詳
第1回調査	1,745	542	308	727	66	102
第2回調査	1,867	657	343	737	96	34
第3回調査	1,769	692	336	640	75	26
第4回調査	1,836	759	318	656	69	34
第5回調査	1,783	788	264	618	53	60
第6回調査	1,615	785	240	510	48	32
第7回調査	1,591	778	212	509	56	36
第8回調査	1,492	764	156	489	51	32
第9回調査	1,375	733	136	428	54	24
第10回調査	1,291	673	106	406	74	32
第11回調査	1,144	628	91	361	48	16
第12回調査	1,010	557	69	302	67	15

注：集計対象は、9頁「参考」を参照。

**P12「参考：2 集計客体数一覧」 図4・表2**  
**【誤（令和6年11月29日公表）】**

図4・表2 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
 【平成24年成年者・平成14年成年者】

【平成24年成年者】

	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後
該当者数（人）							
男	255	255	247	257	256	250	247
女	603	601	611	605	608	608	610
女（正規）	328	327	334	331	329	334	332
女（非正規）	127	126	128	126	127	125	127
平均所得額（万円）							
男	336.9	357.9	387.7	432.1	439.1	467.5	485.0
女	253.7	261.5	263.5	214.3	107.3	126.6	148.0
女（正規）	288.3	308.9	335.2	315.7	168.5	187.5	217.6
女（非正規）	209.3	189.9	168.2	118.7	40.0	56.4	71.3

【平成14年成年者】

	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後
該当者数（人）							
男	159	193	211	251	251	249	243
女	285	357	419	412	413	423	415
女（正規）	100	127	153	149	151	152	152
女（非正規）	54	68	79	79	76	81	79
平均所得額（万円）							
男	359.9	384.2	400.2	412.3	436.8	450.3	461.1
女	251.4	240.3	220.9	156.3	69.5	76.4	95.5
女（正規）	308.5	322.0	339.7	306.7	150.0	158.7	192.9
女（非正規）	246.3	203.7	186.1	132.6	35.9	45.1	50.9

- 注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2)所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3)正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。  
 4)「該当者数」は、所得額階級1500万円以上、所得有無不詳及び所得額階級不詳を除く。  
 5)「平均所得額」の算出には、1500万円以上、所得有無不詳及び所得額階級不詳を除き、各所得額階級階級値（階級の真ん中の値）を用いた。  
 例) 所得額階級100～150万円未満の場合は、階級値を125万円として算出  
 6)平成14年成年者は、第3回から第4回に出生した者の出生の3年前及び2年前、第4回から第5回に出生した者の出生の3年前について、平均所得額の結果に含めていない。

**【正】**

図4・表2 第3回調査から第9回調査の間で第1子が生まれた者の出生前後の平均所得額の変動  
 【平成24年成年者・平成14年成年者】

【平成24年成年者】

	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後
該当者数（人）							
男	255	255	247	257	256	250	247
女	604	602	612	606	609	609	611
女（正規）	329	328	335	332	330	335	333
女（非正規）	127	126	128	126	127	125	127
平均所得額（万円）							
男	336.9	357.9	387.7	432.1	439.1	467.5	485.0
女	253.9	261.5	263.6	214.2	107.3	126.6	148.2
女（正規）	288.5	308.8	335.1	315.1	168.4	187.5	217.9
女（非正規）	209.3	189.9	168.2	118.7	40.0	56.4	71.3

【平成14年成年者】

	3年前	2年前	1年前	出生時	1年後	2年後	3年後
該当者数（人）							
男	159	193	211	251	251	249	243
女	285	357	419	412	413	423	415
女（正規）	100	127	153	149	151	152	152
女（非正規）	54	68	79	79	76	81	79
平均所得額（万円）							
男	359.9	384.2	400.2	412.3	436.8	450.3	461.1
女	251.4	240.3	220.9	156.3	69.5	76.4	95.5
女（正規）	308.5	322.0	339.7	306.7	150.0	158.7	192.9
女（非正規）	246.3	203.7	186.1	132.6	35.9	45.1	50.9

- 注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2)所得額は、前年1年間の所得の状況である。  
 3)正規・非正規は、第1子出生1年前の状況である。  
 4)「該当者数」は、所得額階級1500万円以上、所得有無不詳及び所得額階級不詳を除く。  
 5)「平均所得額」の算出には、1500万円以上、所得有無不詳及び所得額階級不詳を除き、各所得額階級階級値（階級の真ん中の値）を用いた。  
 例) 所得額階級100～150万円未満の場合は、階級値を125万円として算出  
 6)平成14年成年者は、第3回から第4回に出生した者の出生の3年前及び2年前、第4回から第5回に出生した者の出生の3年前について、平均所得額の結果に含めていない。